

原文部分：

「裸の王様」の参拝

明治の初めに生まれ、本紙俳壇の選者をつとめた松瀬青々に一句ある。〈眉つゝみ狐も出るや千葉笑〉。はて千葉笑とは何だろう。歳時記を開くと載っていて、手元の辞書にもある。庶民の知恵というべき江戸時代の奇習である。

その昔、大みそかの夜になると、現在の千葉市にある千葉寺に土地の者が集まった。顔を包んで隠し、声を変え、役人や奉行、庄屋らの仕事ぶりや行状の善悪を言い立てて、大いに笑い合ったという。

江戸中期の文献によれば、役人たちは笑われまいと励み素行を慎んだというから、おのずと権力監視の用も担っていたようだ。下々からお上への痛烈な笑いのつづて。「裸の王様」が多そうな封建時代、権力者にそれと教える笑いだったかも知れない。

時は流れて民主主義の時代にも、「裸の王様」は健在らしい。安倍首相がきのう靖国神社に参拝した。自党内にはもはや

意見する人物はいないのだろうか。政権誕生から1年の記念日でもあった。

人の行為にも目方というものがある。この場合、首相ともなれば超ヘビー級だ。庶民のように「ちょいとお参りしてきたよ」ではすまない。他の閣僚とも違う。王様には、その巨体を教えてくれるお友達もいなかったようである。

アメリカも「失望した」と批判している。秘密法にせよ、日ごろは「国益」を好んで国民に説く人だが、自分の思いのためなら国益を損なっても構わないというのか。独善と傲慢には、さしもの千葉笑の呵々大笑も届きそうにない。

2013年12月27日



第 1 节

「裸の王様」の参拜①

明治の初めに生まれ、本紙俳壇の選者をつとめた松瀬青々に一句ある②。〈眉つとみ狐も出るや千葉笑〉。はて千葉笑とは何だろう。歳時記を開くと載っていて、手元の辞書にもある③。庶民の知恵というべき江戸時代の奇習である。

その昔、大みそかの夜になると、現在の千葉市にある千葉寺に土地の者が集まった④。顔を包んで隠し、声を変え、役人や奉行、庄屋らの仕事ぶりや行状の善悪を言い立てて、大いに笑い合ったという⑤。



译文

“裸体国王”之参拜

生于明治初期、曾担任过本报俳坛栏目评委的松瀬青青（1869-1937）写有这么一首俳句：“掩眉遮脸，亦有狐面具，千叶笑声亮。”这“千叶笑”是什么意思呢？我翻开了《岁时记》，里面就有记载，手头的词典里也有解释。这是江戸时代（1603-1867）反映百姓智慧的一种奇风异俗。

据说在很久以前，一到除夕夜，当地人就聚集在位于

现千叶市的千叶寺里。他们把脸遮裹起来，改变声音列举官吏、村长的工作态度和善恶行为，一齐放声大笑。

- ① **注解**「裸の王様」是丹麦安徒生（1805-1875）写的最有名的童话之一，汉语一般译为《皇帝的新衣》。在这里是直译。
- ② **注解**「本紙俳壇」指朝日新闻报中的俳句栏目，读者可以投稿，被选中的话，即登载其上。
- ③ **注解**「歳時記」，根据俳句中的季节用语进行分类、排列起来的俳句注释集。
- ④ **注解**「土地の者」指当地人，而不是地主。另还有「土地の人」的说法，也是“当地人”的意思。
- ⑤ **注解**「奉行」，因汉语里没有与其对应的译词，故与前面的「役人」合译为“官吏”。



生词&例句

【俳壇】^{はいだん} 俳句界；俳坛。

【選者】^{せんじゃ} 挑选者；评选者；评委。

<例句> ● 選者の評。⇒ 评委的评语。

【つとめる】^{つと}**【務める】** 担任。**注意** 另有「勤める」「努める」也读「つとめる」，但意思各异。

<例句> ● 彼は2期議長をつとめた。⇒ 他担任了两届主席。

● 彼は社長をつとめる器ではない。⇒ 他不是当总经理的料。



【>】重复符号（重复前一个字的符号）；叠字符号。日语称为「踊り字」。文中的「つゝみ」＝「つつみ」。

【はて】（疑问词）咳；哎；哎呀。

<例句> ●はて、何だろう。⇒咳，是什么呢？

●はて、どこへ置いたのかな。⇒哎呀，放在哪儿了呢？

【奇習^{きしゅう}】奇俗；奇异的风俗（习惯）。

<例句> ●入れ墨の奇習。⇒文身奇俗。

【その昔^{むかし}】从前；很久以前；古时候。

【奉行^{ぶぎょう}】日本古时分管政务的官员。

【庄屋^{しょうや}】江戸时代的村长；庄头。

【一ぶり】样子；状态。

<例句> ●いかにも学者らしい話しぶりだ。⇒讲话的样子确实像个学者。

●派手な暮らしぶりで近所の評判になっている。⇒生活奢侈在这附近一带很有名。

【行状^{ぎょうじょう}】行为；品行。

<例句> ●行状が悪い。⇒品行不端。

●行状の怪しい人。⇒行为可疑的人。

【言い立てる^{いいたてる}】（1）列举；数落。（2）强调；坚决主张。

<例句> ●人のあらを言い立てる。⇒数落别人的缺点。

●一つ一つ言い立てる。⇒一个一个地列举。

●さかんに言い立てる。⇒极力主张。

第 2 节

江戸中期の文献によれば、役人たちは笑われまいと励み素行を慎んだというから、おのずと権力監視の用も担っていたようだ⑥。下々からお上への痛烈な笑いのつぶて⑦。「裸の王様」が多そうな封建時代、権力者にそれと教える笑いだったかも知れない。

時は流れて民主主義の時代にも、「裸の王様」は健在らしい。安倍首相がきのう靖国神社に参拝した。自民党内にはもはや意見する人物はいないのだろうか。政権誕生から1年の記念日でもあった。

译文

据江戸中期文献记载，官吏们为了不被耻笑而谨言慎行，这（“千叶笑”）自然也起到了监督权力的作用。这也可以说是庶民百姓对官府发出的最响亮的笑声，具有抨击作用。在“裸体国王”颇多的封建时代，这种笑声也许是对掌权者的一种告诫。

时光流逝，即使在民主主义时代，这些“裸体国王”似乎依然存在。安倍首相昨天就参拜了靖国神社。难道自民党内就没有人提出异议（直译：意见）吗？这天还是安倍政权诞生1周年的纪念日。



- ⑥ **注解**「励み」为动词连用形，其后可加顿号：「役人たちは笑われまいと励み、素行を慎んだというから」，这样就比较好理解了，即前部分指（要努力做到）不被耻笑，后部分则指为此要谨言慎行。
- ⑦ **注解**「つぶて」喻指百姓的笑声像飞石那样，具有抨击作用。亦即把笑声当武器。



生词&例句

【素行】^{そこう}品行；操行。

- <例句> ●素行を慎む。⇒ 慎行。
●素行が悪い。⇒ 品行不好。

【慎む】^{つつし}谨慎；慎重；小心。

- <例句> ●言行を慎む。⇒ 谨言慎行。
●今後は二度とそのようなことをしないように行動を慎みます。⇒ 今后一定慎重行事，避免再发生此类事情。

【担う】^{にな}（1）挑；担。（2）肩负；担负。

- <例句> ●たきぎを担う。⇒ 挑柴。
●重責を双肩に担う。⇒ 肩负重任。
●みんなの期待を一身に担う。⇒ 身负众望。

【下々】^{しもじも}庶民；黎民；老百姓。

- <例句> ●下々の生活。⇒ 老百姓的生活。
●下々の事情に通じている。⇒ 熟悉民情。

【お上】^{かみ}（1）天皇。（2）政府；官府。（3）主人；主子。

<例句> ●お上に訴える。⇒ 向当局控告。

●お上にたてつく。⇒ 犯上。对抗领导。

【つぶて】^{つぶて}【飛礫】^{つぶて}【礫】 石子；飞石；飞镖。

<例句> ●雪つぶてを投げる。⇒ 掷雪团。

●つぶてが飛んでくる。⇒ 石子飞过来。

【もはや】^{もはや}【最早】 已经。

<例句> ●もはや間に合わない。⇒ (事到如今) 已经来不及了。

●医者を呼んでももはや手遅れだ。⇒ 就是请医生来，也已经晚了。

第 3 节

人の行為にも目方^{めかた}というものがある。この場合、首相^{ぼあい しゅしやう}ともなれば超^{ちやう}へび一級^{きゆう}だ。庶民^{しよみん}のように「ちよいとお参りしてきたよ」ではすまない。他の閣僚^{ほか かくりやう}とも違う。王様^{ちが おうさま}には、その巨体^{きよたい}を教^{おし}えてくれるお友達^{ともだち}もいなかったようである⑧。

アメリカも「失望^{しつぼう}した」と批判^{ひはん}している。秘密法^{ひみつほう}にせよ、日ごろは「国益^{こくえき}」を好^{この}んで国民^{こくみん}に説^とく人^{ひと}だが、自分^{じぶん}の思いのためなら国益^{こくえき}を損^{そこ}なっても構^{かま}わないというのか⑨。独善^{どくぜん}と傲慢^{ごうまん}には、さしも^{まん}の千葉笑^{ち ばわらい}の呵々大笑^{か かたいしやう}も届^{とど}きそうにない⑩。



人的行为举止也是有分量的。在这种情况下，一旦成为首相，那就是超重量级的。你不能像庶民百姓那样说一句“去参拜了一下”就完事了。这与其他内阁成员（去参拜）也不一样。看来“国王”身边没有一个人（直译：朋友）提醒其巨大躯体之分量。

美国也（就此）批评说“很失望”。又如（直译：即使）在《秘密法》上，安倍常喜欢以“国家利益”来说服国民，但现在怎么就非要执己之念而不顾损害国家的利益了呢？看来安倍一意孤行与傲慢不羁是因为那“千叶笑”的哈哈大笑声传不到他耳朵里。

- ⑧ **注解** 这里的「王様」喻指日本首相安倍。这是根据安徒生的童话而来，即“穿上新衣”的皇帝其实什么衣服也没有穿，别人都不敢说，只有天真无邪的孩子说了出来。
- ⑨ **注解** 「秘密法」为「特定秘密保護法」之略。2013年12月6日日本政府通过了此法，旨在防卫、外交、防谍和防恐四大领域中，防止情报泄露，保护国家的安全。但在野党、媒体、法律界以及市民团体中不乏持慎重论调者和反对者，他们对国民的“知情权”或许受到损害表示严重的忧虑。
- ⑩ **注解** 注意日语的「独善」与汉语的“独善”为同形异义词。日语的「独善」指自以为是、自命不凡、一意孤行，为贬义词；而汉语的“独善”为褒义词，如“独善其身”，



意思是“注重自身修养，保持节操”。



生词&例句

^め【目方】重量；分量。

<例句> ●目方を測る。⇒ 称重量。

●目方が足りない。⇒ 分量不够。

【ヘビー】heavy。(1) 重；大。(2) 激烈；猛烈。

<例句> ●ヘビースモーカー。⇒ 烟瘾很大的人。烟鬼。

●ヘビーなトレーニング。⇒ 激烈的训练。

【ちよいと】(=「ちょっと」) 稍微；有点；一下。

<例句> ●ちよいと待ってくれ。⇒ 稍等一下。

●ちよいとしたことで腹を立てる。⇒ 为一点小事发怒。

^{まい}【お参り】^{おまい}【御参り】(名词) 拜神佛；参拜寺庙。【注意】不要与自谦动词「参る」混淆起来。「参る」=「行く」「来る」。

<例句> ●寺にお参りする。⇒ 拜寺(庙)。

●神社へお参りに行く。⇒ 去参拜神社。

●母のお墓にお参りする。⇒ 给母亲扫墓。

^す【すむ】^{済む}【済む】(1) 完。(2) 可以；就行。(3) 没事儿；解决。

<例句> ●用事はもうすんだ。⇒ 已经办完了事。

●わざわざ社長が出席しなくても部長が行けばすむ。
⇒ 不用总经理出席，只要部长去就行了。

●すみませんですむと思うのか。⇒ 你以为说声对不起就没事了吗？



^{この}【好む】喜欢；爱好。

<例句> ● 都会生活を好まない。⇒ 不喜欢城市生活。

● 幼いころから学問を好んだ。⇒ 自幼就好学。

^と【説く】(1) 说明。(2) 说服；劝说。(3) 宣传；提倡。

<例句> ● 理由を説く。⇒ 说明理由。

● いろいろ説いて心配させまいとする。⇒ 多方劝说，叫他放心。

● 貯金の必要を説く。⇒ 宣传储蓄的必要性。

^{どくぜん}【独善】自以为是；自命不凡；一意孤行。

<例句> ● 彼は独善に陥っている。⇒ 他犯了自以为是的毛病。

● 独善的な人間は嫌われる。⇒ 一意孤行的人让人讨厌。

【さしも】那样；那么。

<例句> ● さしもの彼も知らない。⇒ 连他那样的人都不知道。

● さしもの大男もこれを見て思わず涙を流した。⇒ 那么一条大汉看到这个也不禁落下了眼泪。

^{かか}【呵々(と)】(拟声词)哈哈。

<例句> ● 呵々大笑する。⇒ 哈哈大笑。